



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 エキサイト株式会社

コード番号 3754 URL <http://www.excite.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今川 聖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 岩崎 達士 TEL 03-6450-2729

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,941	△12.2	△134	ー	△194	ー	△179	ー
28年3月期第3四半期	5,630	4.0	△445	ー	△480	ー	△454	ー

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 332百万円 (ー%) 28年3月期第3四半期 △853百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△28.40	ー
28年3月期第3四半期	△72.01	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,542	5,652	86.3
28年3月期	6,277	5,420	86.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,648百万円 28年3月期 5,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00
29年3月期	ー	0.00	ー		
29年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

平成29年3月期業績予想については、現時点で合理的な算定が困難であるため、記載しておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	6,310,600株	28年3月期	6,310,600株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	924株	28年3月期	924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	6,309,676株	28年3月期3Q	6,309,713株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（4-12月）における売上高は、大型スポット広告（純広告）を獲得できなかったこと、前期末に音楽ファンサイト運営事業を譲渡したこと、及び今年9月に美容室検索サイトを運営する国内子会社の株式の一部を売却し連結対象外としたこと等により、前年同期比12.2%減の4,941百万円となりました。

前期における「エキサイト光」の顧客獲得のための大型プロモーションの反動もあり、ブロードバンド事業は増収増益となりました。一方、広告・課金事業において、リニューアル等が一巡した主力課金サービスが堅調に推移しましたが、純広告の減収を運用型広告の増収でカバーできませんでした。それらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は前年同期の445百万円から310百万円の改善にとどまり、134百万円となりました。

旅行事業を運営する国内関連会社の赤字拡大により、持分法による投資損失が63百万円発生いたしました。一方、前年のチケット販売を運営する国内関連会社の株式売却に続き、今年も美容室検索サイトを運営する国内子会社の株式の一部を売却し、関係会社株式売却益を計上しましたが、株式売却による利益の改善は前年に及びませんでした。それらの結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年同期の454百万円から275百万円の改善にとどまり、179百万円となりました。

広告・課金事業

純広告市況の悪化、前期末の音楽ファンサイト事業譲渡に加え、第2四半期に美容室の検索サイトを運営する子会社を連結対象外としたことにより、当セグメントの売上高は、前年同期比22.7%減の2,653百万円となりました。利益面においては、販路拡大による運用型広告が増益、リニューアル等が一巡した当社の主力課金サービスが、前期の開発費が無くなった反動等により増益となりましたが、大型純広告の受注減少、新規サービスがコストに見合う収益を上げきれないことの影響が大きく、営業利益は、前年同期比94.5%減の16百万円となりました。

ブロードバンド事業

旧サービスからの移行等による減収を「エキサイト光」の増収が上回り、当セグメントの売上高は、前年同期比4.2%増の2,288百万円となりました。利益面においては、大手キャリアとの競合が激しく、「エキサイト光」の伸びも鈍化しつつある中、前年のような大型プロモーションは行いませんでしたが、契約獲得のための代理店の活用、カスタマーサポートの品質維持のための費用は増加させています。それらの結果、営業損益は、前年同期の207百万円の営業損失から、364百万円の営業利益となりました。

報告セグメントごとの売上高及び営業利益又は損失

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
売上高:			
広告・課金事業	3,433	2,653	△780
ブロードバンド事業	2,196	2,288	92
合計（四半期連結損益計算書計上額）	5,630	4,941	△688
セグメント利益又は損失（△）			
広告・課金事業	297	16	△281
ブロードバンド事業	△207	364	571
調整額（管理部門の費用等）	△535	△515	20
合計（四半期連結損益計算書計上額）	△445	△134	310

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 調整額の主な内容は、事務所家賃及び管理部門に係る費用です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円の増加となりました。これは主に売掛金が減少したこと等により流動資産が297百万円減少したこと、また、保有株式の時価評価によって投資有価証券が増加したこと等により、固定資産が562百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は890百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円の増加となりました。これは主に買掛金の減少等により流動負債が85百万円減少したこと、また、保有株式の時価評価による繰延税金負債の増加により固定負債が118百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失及び剰余金の配当により利益剰余金が274百万円減少したこと、また、保有株式の時価評価によりその他有価証券評価差額金が509百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻くインターネット業界は、引き続きPCからスマートデバイスへのシフトが加速し、クラウドサービスやビッグデータに続きIoTや人工知能への注目が集まるなどIT技術の進展に刺激され日々多種多様なサービスが新たに生まれています。

当社はこのような状況下、広告分野において前期に新たに自社開発した人工知能搭載のレコメンドエンジン「wisteria（ウィステリア）」を活用した広告商品戦略を強化してまいります。また、「ニュース」分野でのオリジナルコンテンツの拡充や機能面を含めた独自性の強化、「Woman」分野でのサイトリニューアルによる顧客ターゲットの明確化及びブランド強化等といった注力分野における差別化戦略を遂行してまいります。課金分野におきましても利用者数拡大に向けた新たな集客手段の確立や新規サービスの創出等を積極的に推進してまいります。ブロードバンド分野におきましては、「エキサイト光」の新規顧客獲得施策の継続実施に加え、今後も一層の普及拡大が見込まれる格安SIMなどのMVNO事業の強化を積極的に展開してまいります。

上述のように、広告・課金、ブロードバンド各分野における収益基盤強化策を強力に推進しつつ、これまでの当社ユーザーとは異なる新たなユーザー層へリーチするサービスの創出や動画コンテンツを活用した新規サービスを展開するとともに、これまで実施してきた先行布石プロジェクトの収益貢献に目途を立て、海外事業においては前期に経営権を取得したCREATIVE VISIONS INDONESIA社の持つ現地顧客基盤を活用したインドネシアにおけるポイント事業の販売力強化や、フィリピンのオフショア開発の安定稼働、及び台湾におけるインバウンドメディア事業のコンテンツの充実と規模の拡大を推進してまいります。また、社内ベンチャー制度を導入し、若手従業員のアイデアを積極的に取り上げることで新たなサービスや事業の開発につなげる等、当社グループ全体の収益基盤確立に注力していく所存です。

なお、当社を取り巻くインターネット業界の事業環境の変化やブロードバンド分野においては、「光コラボ」をめぐる今後の消費者動向については未だ予想が困難であることから現時点における合理的な業績予測の算出ができないため、定量的な業績予測の開示を控えさせていただきます。

※業績予想に関する留意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,325,179	3,357,594
売掛金	1,324,243	1,091,522
関係会社預け金	1,526,665	—
繰延税金資産	53,082	53,082
その他	690,499	118,089
貸倒引当金	△2,867	△1,442
流動資産合計	4,916,803	4,618,845
固定資産		
有形固定資産	113,064	81,689
無形固定資産		
のれん	167,321	139,434
その他	138,966	177,324
無形固定資産合計	306,287	316,759
投資その他の資産		
投資有価証券	871,067	1,454,145
その他	133,943	134,064
貸倒引当金	△63,723	△63,030
投資その他の資産合計	941,287	1,525,180
固定資産合計	1,360,639	1,923,629
資産合計	6,277,443	6,542,474
負債の部		
流動負債		
買掛金	425,729	324,600
未払法人税等	19,459	30,676
引当金	95,558	77,020
その他	315,852	338,555
流動負債合計	856,599	770,853
固定負債		
繰延税金負債	353	119,200
固定負債合計	353	119,200
負債合計	856,952	890,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,237,979	3,237,979
資本剰余金	1,888,710	1,888,710
利益剰余金	536,630	261,790
自己株式	△4,925	△4,925
株主資本合計	5,658,394	5,383,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△239,819	270,089
為替換算調整勘定	△6,942	△5,005
その他の包括利益累計額合計	△246,761	265,084
非支配株主持分	8,857	3,781
純資産合計	5,420,490	5,652,420
負債純資産合計	6,277,443	6,542,474

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）
売上高	5,630,265	4,941,875
売上原価	2,721,908	2,513,544
売上総利益	2,908,356	2,428,331
販売費及び一般管理費	3,353,476	2,562,621
営業損失（△）	△445,120	△134,290
営業外収益		
受取利息	3,642	2,038
受取配当金	7,543	1,375
その他	1,952	3,163
営業外収益合計	13,137	6,577
営業外費用		
持分法による投資損失	46,180	63,703
為替差損	2,597	2,487
その他	145	259
営業外費用合計	48,924	66,450
経常損失（△）	△480,906	△194,163
特別利益		
固定資産売却益	282	—
関係会社株式売却益	28,056	18,756
特別利益合計	28,339	18,756
特別損失		
固定資産除却損	1,768	2,540
特別損失合計	1,768	2,540
税金等調整前四半期純損失（△）	△454,335	△177,947
法人税、住民税及び事業税	4,591	4,363
法人税等還付税額	—	△2,954
法人税等合計	4,591	1,408
四半期純損失（△）	△458,926	△179,356
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△4,563	△153
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△454,363	△179,202

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純損失（△）	△458,926	△179,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△389,223	509,908
為替換算調整勘定	△1,245	76
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,437	1,700
その他の包括利益合計	△394,906	511,685
四半期包括利益	△853,833	332,329
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△849,049	332,643
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,783	△313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	広告・課金 事業	ブロードバンド 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,433,673	2,196,591	5,630,265	—	5,630,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,433,673	2,196,591	5,630,265	—	5,630,265
セグメント利益又は損失 (△)	297,719	△207,065	90,654	△535,774	△445,120

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△535,774千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△535,774千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	広告・課金 事業	ブロードバンド 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,653,047	2,288,828	4,941,875	—	4,941,875
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,653,047	2,288,828	4,941,875	—	4,941,875
セグメント利益	16,381	364,817	381,199	△515,490	△134,290

(注) 1. セグメント利益の調整額△515,490千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△515,490千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。